

<ちょこっとコラム 63>

(神学用語 その⑤)

贖い *Redemption*

「贖う」という語は、罪の償いをする事（贖罪）を意味し、キリスト教の教義の中心となる重要な言葉です。イエス様が十字架にかけられて死ぬという贖いの業によって、人類の罪（原罪）が赦され、それまで分断されていた神との関係が修復されたと信じるのがわたしたちの信仰です。それは、救いと同義語でもあり、「贖い主」とは「救い主」を意味します。この教義は、主に新約聖書のパウロの手紙の中で明らかにされています。今年の聖金曜日（受苦日）は、4月10日です。神様がわたしたち一人ひとりを愛するあまりに大切な独り子を十字架にかけられたことを心に留め、喜びあふれるイースターに備えましょう。